



ごあいさつ

全国特別支援学級設置学校長協会

会長 近藤 正幸

平成25年度全国特別支援学級設置学校長協会、創立50周年記念、第50回全国研究協議会・青森大会がここ弘前市で開催されますことを心よりお慶び申し上げます。

本大会の開催にあたり、特段のご配慮をいただきました青森県教育委員会、弘前市教育委員会をはじめとして、多くの関係諸団体の皆様に深く感謝いたします。

また、本大会の準備を進めていただいた、青森県特別支援学級設置学校長協議会会長、大会実行委員長坂本要造様をはじめ、青森県特別支援学級設置学校長協議会の皆様方のご尽力に対し、会を代表して心よりお礼申し上げます。

さて、学校教育法の一部が改正され、新たな理念で特別支援教育がスタートして数年が経過し、障害のある児童生徒一人一人のニーズに応える個別的教育支援計画の策定や個別の指導計画の作成について一層取り組まれるようになってきています。日々の教育活動においても一人一人の児童生徒の実態に即した教育内容の編成など、充実した教育活動が実践・展開されてきています。まさに、一人一人の児童生徒の教育的ニーズに応じた教育が全国の小中学校で校長のリーダーシップのもと行われていると考えています。

すでに小中学校では新学習指導要領が全面实施されています。その総則の中で小学校では「小学校間、幼稚園や保育所、中学校及び特別支援学校などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること」、中学校では「中学校間や小学校、高等学校及び特別支援学校

などとの間の連携や交流を図るとともに、障害のある幼児児童生徒との交流及び共同学習や高齢者などとの交流の機会を設けること」と交流及び共同学習を義務づけました。

また、障害者の権利に関する条約の批准に向けて、平成23年8月に改正された「障害者基本法」が公布・施行されましたが、第14条第3項に関しては引き続き、「国及び地方公共団体は、障害のある児童及び生徒と障害のない児童及び生徒との交流及び共同学習を積極的に進めることによって、その相互理解を促進しなければならないこと」となっています。

将来を担う子供たちに、学校教育の中で共生社会を形成していくための素地として、子供たちに交流及び共同学習の内容の充実が求められています。

いま、特別支援学級に在籍する児童生徒数が増え続けている実態があります。それに伴う学級数の増加は、新たな課題を生み出しています。全特協の全国調査によればその一つとして特別支援学級担当教員の専門性や指導力、さらには教師としての深い人間性等にかかわる問題が明らかになってきました。若手教員の育成は喫緊の課題として、校長のリーダーシップを発揮し取り組んでいくことが重要です。

結びにあたり、本全国研究協議会・青森大会が実り多き研究協議会となり、その成果が各校の課題解決の糸口となるとともに、都道府県各地域の今後の特別支援教育の充実と発展へと積み上げられることを祈念し、大会のご挨拶といたします。



ごあいさつ

全国特別支援学級設置学校長協会
第50回全国研究協議会青森大会

実行委員長 **坂 本 要 造**

全国各地からご参会の皆様、「春は桜、夏はねぷた、秋はりんご、冬は雪」の街、みちのくの小京都、弘前市にようこそお越しくださいました。青森大会実行委員会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げます。

また、本日は公務ご多忙中にもかかわらず、文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長大山真未様、青森県教育委員会教育長橋本都様、弘前市教育委員会教育長佐藤紘昭様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、「全国特別支援学級設置学校長協会全国研究協議会青森大会」が記念すべき第50回という節目の大会として盛大に開催されますことを心から感謝申し上げます。

さて、特別支援教育がスタートして6年が過ぎました。昨年の中央教育審議会特別委員会の報告では、共生社会の形成に向けて、インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の着実な推進が必要とされています。特別支援学級に在籍する児童生徒や通級指導教室の対象児童生徒が年々増えてきていることに加え、通常学級においても発達障害等により支援を必要とする児童が増えてきている現状です。特別支援学級の設置、未設置にかかわらず、すべての校長がリーダーシップを発揮し、特別支援教育の推進役として、その職務を果たすことが使命とされています。特別支援教育は、発達障害を含む障害のある児童生徒の自立や社会参加に向け、一人一人の教育的ニーズに応じた適切な

指導及び支援を行うために、学校をはじめ家庭や医療・福祉等関係機関との連携及び社会全体の理解が重要です。

平成23年度より順次全面実施された新学習指導要領に基づき、特別支援教育が着実に進められているところでありますが、その中で、「教員の資質の向上」「校内支援体制の確立」「関係機関との連携を図った個別的教育支援計画」等の課題も挙げられております。1日目には、宮本信也先生に『発達障害の理解と支援～特性と「障害」を区別することの重要性～』という演題で講演していただきます。この講演では、発達障害について一層の理解を深めていただければと考え計画を進めてきました。また、2日目には、前述の課題について分科会での協議を深めていただきます。分科会の後半では昨年の北海道大会に引き続きグループ協議も予定しております。

青森大会で、私たち特別支援学級設置学校長は、障害のある児童生徒の教育について、全国各地の方々とともに研究協議を通し、特別支援教育と学校運営にかかわる校長のリーダーシップ・役割を明らかにし、常に認識を新たにしながら特別支援教育の推進と充実に努めていきたいと考えます。

この2日間の大会が、特別支援教育のさらなる充実に向け、実り多い大会になりますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。



祝 辞

青森県教育委員会

教育長 橋 本 都 様

ここに、平成25年度全国特別支援学級設置学校長協会第50回全国研究協議会青森大会が、全国の特別支援学級を設置する小・中学校長をお迎えし、弘前市におきまして盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

さて、障害者基本法の一部を改正する法律が、平成23年8月に施行されました。この中で、国及び地方公共団体は、年齢、能力に応じ、その特性を踏まえた十分な教育が受けられるようにするため、障害者でない児童及び生徒とともに教育を受けられるよう配慮しつつ、教育の内容及び方法の改善及び充実を図る等、必要な施策を講じることなどが明示されました。さらに、このことを受けた中央教育審議会報告で、今後は共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの理念が重要であり、その構築のため特別支援教育を着実に進めていくことが必要とされております。

青森県教育委員会では、教育施策の方針に「新しい時代を主体的に切り拓く人づくり」を掲げ、「教育は人づくり」という視点に立って、「確かな学力」、「豊かな人間性」、「健やかな体」をはぐくみ、個を生かし生きる力と夢をはぐくむ学校教育の推進に向け、様々な教育施策を展開しているところであり、発達障害を含む障害のある幼児児童生徒

一人一人の教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援に努める特別支援教育の推進は、今後ますます重要になるものと考えております。

今年度からは、平成25年度文部科学省委託事業「インクルーシブ教育システム構築事業」において、各市町村の小・中・高等学校における交流及び共同学習の円滑な実施を目指し、一人一人の障害の状態や教育的ニーズに応じて行われている合理的配慮に関する検討を行うとともに、早期からの教育相談・支援体制の構築に向けた体制整備に取り組んでおります。

このような中、本大会が、「一人一人の教育的ニーズに応え 豊かに生きる力をはぐくむ 特別支援教育の推進と充実」を大会主題に開催され、講演や分科会を通じて、今後の特別支援教育についての研究を一層深めていくことは、誠に時宜を得た、大変意義深いものであり、その成果に大きな期待を寄せるものであります。

結びに、本大会の開催に当たり、御尽力いただきました関係各位に対し、深く敬意を表するとともに、全国特別支援学級設置学校長協会のますますの御発展と御参会の皆様様の御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



祝 辞

弘前市教育委員会

教育長 佐藤 紘 昭 様

全国特別支援学級設置学校長協会全国研究協議会の記念すべき第50回大会が、豊かな歴史と文化に支えられた「お城と桜とりんごの街」、ここ青森県弘前市を会場に、全国各地から多くの先生方をお迎えして盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。また、これまで貴協会が、小・中学校における特別支援教育の充実に大きな役割を果たしてこられましたことに、敬意を表します。

さて、昨年7月、文部科学省から「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」が公表され、今後の特別支援教育のあり方について方向性が示されたところです。この中では、今後目指すべき重要な視点として、誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型社会の構築が必要であることが提言されております。また、障害のある子どももいない子どもも、全ての子どもが同じ場で共に学ぶことを追求しながら、能力や可能性を最大限に伸ばすことができるよう、一人一人の障害の状態や教育的ニーズ等を把握し、適時、適切、適度に行われる配慮、いわゆる「合理的配慮」の提供についても、学校施設設備や教材等、教育環境の整備を念頭に置きながら検討することが求められております。

これを踏まえ弘前市では、今年度、子どもたちの笑顔あふれる学校づくり、社会づくりを目

指し、全市を挙げてインクルーシブ教育システム構築に向けた実践研究を行うことといたしました。合理的配慮を行うための基礎的環境整備や、学習支援の方法について研究を進め、それぞれの中学校区において、人材や関係機関などの教育資源をどのように組み合わせると、より子どもたち一人一人の教育的ニーズに応えることができるか、全市的に取り組んでまいります。インクルーシブ教育システム構築のためには、各校長がその理念を十分に理解することはもちろんのこと、実現のための明確な経営ビジョンを打ち出し、自らリーダーシップを発揮して校内支援体制を整備・充実させることが必要であります。今大会では、「教員の資質の向上」「校内支援体制の確立」「関係機関との連携を図った個別的教育支援計画」等の課題解決に向け、分科会での研究協議等が行われますが、参加者の皆様方にとりましても、また、当市の取組にも具体的な示唆を与えてくれるものと期待いたしております。また、今大会での研究成果が全国各地に広められ、今後の特別支援教育の一層の充実につながることを切に願います。

結びに、今大会の開催にあたり、周到な計画のもと準備を進めてこられた関係者の皆様の御尽力に心から敬意と感謝を申し上げますとともに、本大会の成功と御参会の皆様のますますの御活躍を祈念し、大会に寄せる言葉といたします。

■開 催 要 項

大会実施要項

研究協議会日程

[8月8日(木)]

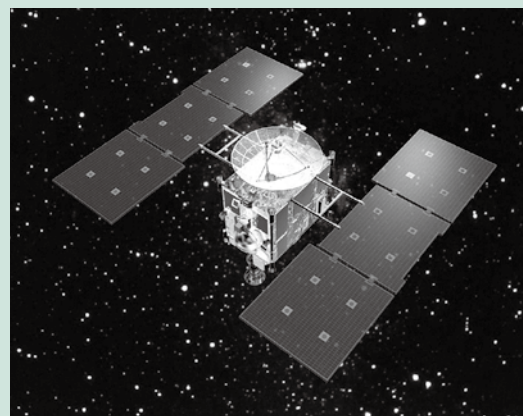
■開 会 行 事

弘前のひと Science



かわ ぐち じゅんいちろう
川 口 淳一郎

宇宙工学者、工学博士である。プロジェクトリーダーとして、幾多の困難を乗り越え、小惑星探査機「はやぶさ」を帰還に導いた。



提供 JAXA



大会実施要項

大会主題

一人一人の教育的ニーズに応え

豊かに生きる力をはぐくむ 特別支援教育の推進と充実

主催 全国特別支援学級設置学校長協会
青森県特別支援学級設置学校長協議会

後援 文部科学省 全国連合小学校長会 全日本中学校長会 全国特別支援学校長会
全国特別支援教育推進連盟 全日本特別支援教育研究連盟 全日本手をつなぐ育成会
青森県教育委員会 弘前市教育委員会 西目屋村教育委員会 青森県小学校長会
青森県中学校長会 青森県特別支援学校校長会 青森県特別支援教育研究会
青森県PTA連合会 公益財団法人日本教育公務員弘済会青森支部 弘前地区小学校長会
弘前地区中学校長会

期日 平成25年8月8日(木)・9日(金)

会場 弘前文化センター(全体会・研究協議など)
〒036-8356 弘前市下白銀町19-4 (TEL:0172-33-6571)

弘前パークホテル(懇談会)
〒036-8182 弘前市土手町126 (TEL:0172-31-0089)

日程 1日目 8月8日(木) 弘前文化センター

9:00	11:40	12:30	13:20	14:10	14:30	16:40	17:40	18:30	20:30
全国副会長研修会	受付	開会 行事	行政説明	ア ラ ン シ ン	講 演	全国理事研修会 分科会打合わせ	移動	懇談会 (弘前パークホテル)	
	11:30		13:10		14:25	16:20			

2日目 8月9日(金) 弘前文化センター

9:00	9:50	12:20	13:20	13:50	14:40	15:00
受付	研究協議 (分科会)	昼食	全体会 (分科会報告)	全体講評	閉会行事	
ブロック研修会 顧問・参与の会						
	9:40				14:30	



研究協議会日程

◎1日目 8月8日(木)

1 全国副会長研修会	9:00-11:30	第2会議室(2F)
2 受付	11:40-12:30	エントランスホール、ホール入口
3 開会行事	12:30-13:10	ホール
4 行政説明	13:20-14:10	ホール
5 アトラクション	14:10-14:25	ホール
6 講演	14:30-16:20	ホール
7 全国理事研修会	16:40-17:40	中会議室(2F)
8 分科会打合せ	16:40-17:40	第3会議室(2F)
9 懇談会	18:30-20:30	弘前パークホテル

◎2日目 8月9日(金)

1 受付	9:00-9:40	各分科会場前
ブロック研修会	9:00-9:40	会議室(1F)
顧問・参与の会	9:00-9:40	第2会議室(2F)
2 研究協議(分科会)	9:50-12:20	
第1分科会		ホール
第2分科会		大会議室(2F)
第3分科会		中会議室(2F)
3 昼食	12:20-13:20	
4 全体会(分科会報告)	13:20-13:50	ホール
5 全体講評	13:50-14:30	ホール
6 閉会行事	14:40-15:00	ホール



開会行事

8月8日(木) 12:30-13:10 弘前文化センター ホール

1 開会の言葉

第50回全国研究協議会青森大会実行副委員長 荒内清藏

2 国歌斉唱

3 挨拶

全国特別支援学級設置学校長協会会長 近藤正幸

第50回全国研究協議会青森大会実行委員長 坂本要造

4 来賓祝辞

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課長 大山真未様

青森県教育委員会教育長 橋本都様

弘前市教育委員会教育長 佐藤紘昭様

5 来賓紹介

第50回全国研究協議会青森大会実行副委員長 阿彦正弘

6 感謝状贈呈

7 閉会の言葉

第50回全国研究協議会青森大会実行副委員長 荒内清藏